

第308回

日文研フォーラム

講師◎宋浣範

高麗大学グローバル日本研究院(韓国)

副院長／日文研

外国人研究員

京都から考える「東アジア安全共同体」

——「戦争」「災害」「歴史」をキーワードとして

コメンテーター◎金野純

学習院女子大学 准教授

司会◎佐野真由子

日文研 准教授

2017年2月10日(金)

十四時～十六時(開場十三時四〇分頃)

ハートピア京都3階大会議室

入場無料

先着一八〇名まで・申込み不要

International Research Center for Japanese Studies

The 308th Nichibunken Forum



主催: 大学共同利用機関法人 人間文化研究機構 国際日本文化研究センター

日文研フォーラム

京都から考える

「東アジア安全共同体」

——「戦争」「歴史」をキーワードとして

Thinking about "the East Asian Safety Community" from Kyoto:
Based on the keywords of "Wars", "Disasters" and "History"

これまでの「東アジア共同体」構想は、参加構成国の利益を優先するものでした。これに代わる、人間の利益—安全—を優先した、「安全共同体」の構想が注目されることはほとんどありませんでした。

人間社会の「安全」に影響を与えるのは災害だけではなくありません。戦争も大きなウェイトを占めます。「東アジア安全共同体」を追求するためには、国境や国籍を超える大胆かつ柔軟な発想が求められます。

本講演では、戦争と災害を通じて見えてくる「東アジア世界」と、とりわけそこに占める京都の位置について、歴史的に考察します。そして、「東アジア世界」共生の終着点となりうる「東アジア安全共同体」の構想をお話ししたいと思います。

講師 宋 浣範

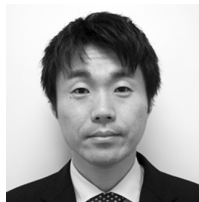
高麗大学グローバル日本研究院(韓国) 副院長/日文研 外国人研究員



韓国高麗大学校文科大学史学科卒業。東京大学大学院人文社会系研究科修士、博士課程卒業。現、韓国日本歴史学会編集委員長、韓国日本思想史学会副会長。2016年7月より国際日本文化研究センター外国人研究員を併任。

日本古代史を専攻としながら、東アジアの中の日本歴史と文化を「律令」「戦争と平和」「災害や安全」「東アジア安全共同体」などをキーワードとして研究。現在日文研では「説話文学と歴史史料との間に」を主題に共同研究を進めている。主な共著に『日本の災害復興:3.11 東日本大震災と人間』(人文社、2014)、『日本の戦争と平和』(インターブックス、2014)、『東日本大震災と日本—韓国からみた3.11』(関西学院大学出版会、2013)、『前近代日本の領土認識』(東北アジア歴史財団、2012)などがある。

コメンテーター 金野 純 学習院女子大学 准教授



1975年生まれ。一橋大学大学院社会学研究科博士課程修了。日本学術振興会特別研究員を経て2009年から現職。

専門分野は東アジア地域研究、政治社会学、歴史社会学。主な著作に『中国社会と大衆動員—毛沢東時代の政治権力と民衆』(御茶の水書房、2008)、『現代中国政治研究ハンドブック』(共著、慶應義塾大学出版会、2015)、『講座 東アジア共同体論 調和的秩序形成の課題』(編著、御茶の水書房、2016)などがある。

日文研フォーラムとは

国際日本文化研究センター(日文研)が、来日中の外国人研究者による日本研究の成果を市民の皆さまにご紹介し、共有していただくことを主な目的とする催しです。

1987年の設立以来、月1回のペースで、京都市中心部の会場で継続的に開催しています。

お問い合わせ先

国際日本文化研究センター 研究協力課

〒610-1192 京都市西京区御陵大枝山町3-2

TEL: 075-335-2078

<http://www.nichibun.ac.jp/ja/>

京都府立総合社会福祉会館 ハートピア京都

【アクセス】

- ・京都市営地下鉄烏丸線「丸太町」駅下車5番出口(地下鉄連絡通路にて直結)
- ・京都市バス、京都バス、JRバス「烏丸丸太町」バス停下車

第309回 日文研フォーラム 2017年4月11日(火) 14:00~16:00

講師：官 文娜 香港中文大学アジア太平洋研究所 名誉研究員

コメンテーター：井上 章一 日文研 教授